

## 2025年のラーメン・ぎょうざ店の客単価が1000円超え、

客数は4年ぶり減少に転じる。

### <外食・中食 調査レポート>

2026年3月18日

サカーナ・ジャパン株式会社

(エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更)

外食・中食市場情報サービス『CREST®\*1』を提供するサカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更、東京都港区、ケビン・ソー代表）は、外食・中食市場レポートを2026年3月18日に公表します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。2025年のラーメン・ぎょうざ店の一人当たりの平均客単価は、調査開始の2014年以降で過去最高値の1,005円となりました。一方で食機会数（客数）は、2025年に4年ぶりに減少に転じました。

### ラーメン・ぎょうざ店の平均客単価は2025年に1,005円に

ラーメン・ぎょうざ店の一人当たりの平均客単価は、6年連続上昇し、2025年（1-12月計）には、1,005円（税込）でした。調査開始の2014年以降で過去最高値で、初めて1,000円を超えました。同業態の食機会数（客数）はコロナ禍以降、3年連続で増加してきましたが、2025年に4年ぶりに前年比0.1%減と減少に転じました。

<図表1> ラーメン・ぎょうざ店の食機会数（千回）と一人当たりの平均客単価（円）



出典: Circana, CREST®, 2019年1-12月計 - 2025年1-12月計

サカーナ・ジャパン フードサービスシニアマネージャーである、矢部 忠継（やべ ただつぐ）は、次のように話します。「外食企業は原材料費や人件費の高騰に苦しみ続けています。ラーメン店においても、長時間スープを煮込むための光熱費がかさんだり、主な原材料の小麦・豚肉・卵・油・米などの相場高が続いたりして収益圧迫の要因となっています。個人店の廃業が相次ぐというニュースが世間を騒がせる一方、大手による中規模ラーメンチェーンの買収が頻繁に起こる業界再編の時代に突入しました。ラーメン業界では長らく『1,000円の壁』が叫ばれ、ラーメン1杯の価格が4ケタを超えると客足が遠のくの恐れ、値上げを3ケタギリギリにまで抑えてきた背景が今まではありませんでした。しかし、ここ最近の原材料等の高騰により、ついに客単価は4ケタ超えました。

ラーメンはインバウンド客にも人気日本メニューです。立地によってはインバウンド客で潤うラーメン店もありますが、それ以外の店舗においても、高単価なラーメンでも、高付加価値を訴求することなどで、お客様の支持を得ることが重要と考えます。」

#### \*1 [CREST®](#)

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを1年365日、消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界13か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

---

#### ■本件に関するお問い合わせ先

サカーナ・ジャパン株式会社

担当：東（あずま）さやか

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL : 03-5798-7663

Email : [circanajapan.info@circana.com](mailto:circanajapan.info@circana.com)

#### ■会社概要

会社名 サカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更）

英名 Circana Japan Ltd.

設立年月日 2003年 3月 31日

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL (03) 5798 - 7663

資本金 80,000,000円

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

代表者 ケビン・ソー

